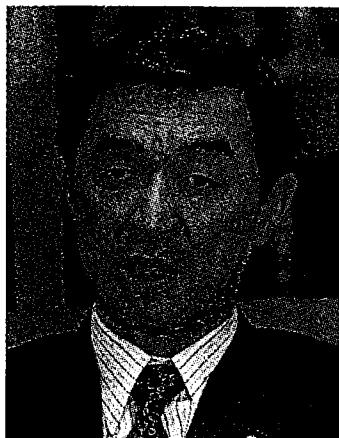


・自民党の脇雅史参院議員は15日、日刊建設工業新聞社のインタビューに応じ、経済対策として公共投資を有効に実施するには、中長期的な視点が必要との考えを明らかにした。09年度当初予算ができる限り前倒し執行した場合、年度後半には事業が急切れするため、「09年度補正予算が必要になる」と強調。09年度補正予算分と10、11年度分を含めた公共投資の3年計画（フェニックスプラン）を策定し、真に必要な事業を順序づけて明らかにすることで、適正な執行体制を確保するとともに、国民の理解を得るべきだとの考えを示した。

経済対策で脇雅史参院議員



中長期的な視点で公共投資を

「インタビューでの脇氏の発言の要旨は次の通り。
「政府の経済対策には株価対策や雇用の助成などさまざま
まな分野があるが、公共事業については考え方を整理してお
く必要がある。毎年、スポーツ的に補正予算で事業を付

必要な事業を優先順位を付け明瞭にすることだ」

「3月中には09年度当初予算が成立する見通しだが、今やるべきは08年度1次、2次年先を見据えながら3年計画を立てるという意味だ。麻生太郎首相の『全治3年』もあつて3年計画を考えるが、そ

11年度までの3年間の投資計画を、7～8月には示さなければならぬ

「5年先と言ったのは、5年に使うことが可能だ」

「3年計画の財源は建設費、首相官邸をはじめ、いろいろなところにこの考え方を伝えてある。経済対策で公共事業を行わなければ意味がない。特に、これから09年度の補正予算を付けようという時には、きちんとした計画を示すべきであり、役に立たないものにしてはもったいない」

けるのではなく、中長期的視点がなければならない。5年程度先を見据えながら、計画を立て、投資規模に合わせ、本当に実行するには、中長期的な視点が必要との考えを明らかにした。09年度当初予算ができる限り前倒し執行した場合、年度後半には事業が急切れするため、「09年度補正予算が必要になる」と強調。09年度補正予算分と10、11年度分を含めた公共投資の3年計画（フェニックスプラン）を策定し、真に必要な事業を順序づけて明らかにすることで、適正な執行体制を確保するとともに、国民の理解を得るべきだとの考えを示した。

「計画の中身の積み上げは、政府を挙げて行うべきだ。概算要求の精度で、どこで、どの程度の費用で、どのような事業を行うかを政府として明確に示せば、事業の執行体制

09年度補正から3年計画策定へ

「与党の景気・雇用創出プロジェクトチームや国土交通省、首相官邸をはじめ、いろいろなところにこの考え方を示す」

「今までの公共事業の考え方では、地域が利益を受けるので（国の直轄事業に）地方の負担金がかかる。この考え方では、経済対策の妨げになるなら地方負担をどう考えるべきか、3年間の特例措置も必要だ」

「3年計画を作ることができる、投資規模に合わせ、本当に実行するには、きちんと計画を示すべきであり、役に立たないものにしてはもったいない」